

ナカニシ、真のグローバル企業へユニフォームをリニューアル



「誇り」「一体感」象徴に

医療・産業用機器製造のナカニシ（本社・鹿沼市下田町）は、働きやすい環境づくりの一環として、高いデザイン性と機能性を兼ね備えた新ユニフォームを制作しました。コンセプトは「ナカニシというチームにふさわしいユニフォーム」。リニューアルの目的や効果については、中西英一代表取締役社長と新ユニフォームをデザインした相澤陽介氏（White Mountaineering）、デザイナーの源馬大輔氏（クリエイティブデザイナー）に話を聞きました。

（企画・制作 下野新聞社営業局）

コンセプトは「チーム」

ユニフォームをリニューアルした理由は何ですか。また、相澤氏にデザインを依頼した理由についても教えてください。

中西英一 一番の理由は、ナカニシの全社員に誇りを持ってもらいたかったからです。そのためには一流デザイナーによる「格好良い」「クール」なデザインの新ユニフォームが必要と考えました。二番目の理由は、「チームナカニシ」としての社員の一体感を醸成したかったということです。さらに三つ目として、毎週のように海外から訪

れるお客さま、特に欧州や米国の方々から見ても格好良い職場を創り出したいとの強い思いがありました。職場のイメージとしてユニフォームの存在は極めて大きいですが、今回のリニューアルが、トータルとして会社のブランドイメージアップにつながることを考えました。

独自性と機能性を両立

依頼を受けたお一人はどのように受け止め、どのような点に心掛けて仕事を臨まれたのでしょうか。

源馬大輔 僕は主にプロデュース、クリエイティブディレクションを担当しました。ナカニシさんからの依頼には、「チーム」や「誇り」「世界で戦う」といった僕の好きなキーワードが詰め込まれていました。特に「チーム」という言葉は重要になると考えました。

相澤陽介 私はナカニシさんの商品や海外戦略などに非常に共感できたので参加させていたが、ナカニシさんのグローバルビジネス展開の現状と、精密機械を生み出す環境で仕事をする方々が着用する二つのファクターを中心にデザインのアイデアを考えていきました。会社に関するさまざまな資料を見せられた中で、コーポレートカラーであるブルーをもっとよりよい形で印象付けられないかと思いましたが、商品やロゴマークなどを通してナカニシさんにはさわやかなブルーというイメージが強くあるにも関わらず、過去のユニフォームにはそうした印象があまりなかったんですね。やはり、さわやかで



株式会社ナカニシ代表取締役社長
中西英一氏

相澤さんは、ロンドンオリンピックの日本選手団の公式ウェアも手がけた一流デザイナーであり、欧州で認められ第一線で活躍されていることが決め手になりました。我が社の製品は欧州が最大の市場であり、その点は特に大きかったですね。

から、男性と女性、やせている人とふっくらしている人が同じものを着ることになるわけですね。しかし、シャツの裾を出してもいい部署と完全にしまわなければならない部署がありますし、事務職では手帳などを収納しなければいけないなど事情がそれぞれ異なります。リクエストされる側は期待値が高いのでそれをどう着地させるかが大きなポイントでしたね。そうしたバランスをとっていく作業に苦心しました。作業着というものは、リサーチすればするほど合理的になっていきます。街の作業着屋さんで売っているものはほとんどが似ているので

プロ意識の高まり顕著

完成したユニフォームを初めて見た時の感想を教えてください。

中西英一 ハイセンスかつ先進的、クールなデザインであり、ヨーロッパテイストも感じられました。欧州のお客さまからは「まるでF1チームですね」とか「NASAみたい」といった感想を頂いています。外部からの評価は非常に高いですよ。



White Mountaineering
デザイナー
相澤陽介氏



ファッションプロデューサー
クリエイティブデザイナー
源馬大輔氏

たのでしょか。



ナカニシ東京事務所内で語り合った3人

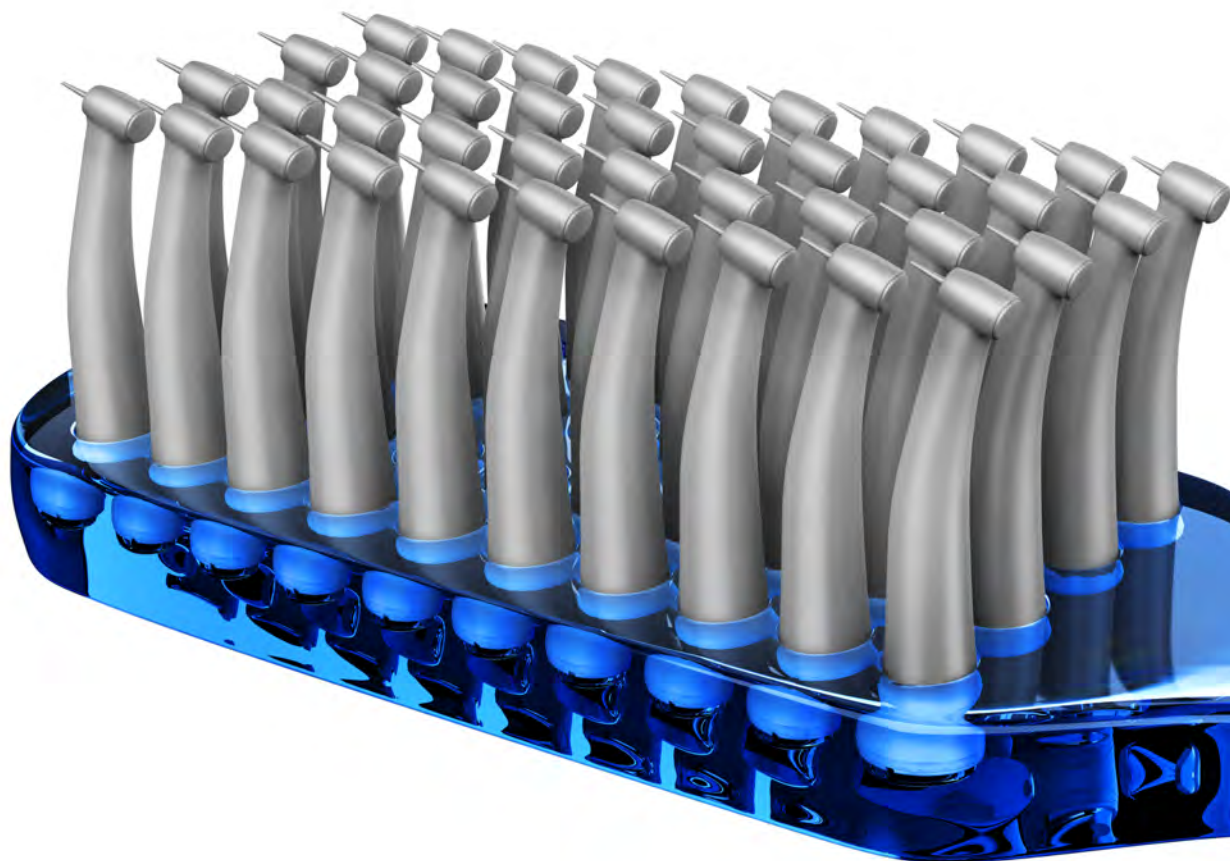
「お一人は今後のナカニシにどのような期待感をお持ちですか。」

源馬大輔 今は世界を相手に勝負していく姿勢が求められている時代です。ナカニシさんはそれを先取りして先鋭的に実践している会社だと思いますので、今後さらに高みを目指すので、本日の意味で「クールジャパン」を体現してほしいと期待しています。

相澤陽介 工場は作業する場所ですが、ナカニシさんの場合、ただものを作っていくだけでなくものづくりの現場をプロデュースしている、さまざまな人に見てもらえる環境として創り出していると思います。今回のユニフォームによって、このユニフォームを着て働きたいと思う人が多くなればなるほど有能な人材が多くなることになるのではないのでしょうか。それがファクトリーの持つ力なのだとあらためて思います。

中西英一 ナカニシが今後目指しているものは何ですか。

中西英一 会社の一体感を強くしてプロ意識の高いチーム、グローバルで戦えるチームを作ろうと日々努力しています。会社にはさまざまな人間がいますが、これまでバラバラだった価値観を同じベクトルで進めていけるようにしたい。「グローバルナンバーワンになる」という大きな目標に全社員で向かっていくのが我が社の理想の姿であり、そのための第一歩が今回のユニフォームのリニューアルだと考えています。素晴らしいユニフォームを作っていただいたお一人には本当に感謝しています。



CREATE IT.